

RubyWorld Conference 2025 開催報告

2025 年 11 月 6 日（木）、7 日（金）、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」（島根県松江市）において、17 回目となる「RubyWorld Conference 2025」を開催しました。主催は RubyWorld Conference 開催実行委員会（構成機関：Ruby アソシエーション、島根県、松江市、島根大学、松江工業高等専門学校、ジェトロ島根、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまね OSS 協議会、経済産業省中国経済産業局）であり、多くの関係機関から後援・協賛をいただき実施しました。



17 回目となる本国際会議では、Ruby に関するシステム開発事例、教育・研究の紹介、最新技術に関する情報など、多岐にわたるセッションを通じて、より幅広い技術領域における Ruby の利活用・研究の促進を図りました。国内外 21 名の講演者にご登壇いただき、2 日間の来場者数は延べ 884 名となりました（詳細は後述）。

また、昨年に続き、Ruby biz Grand prix、RubyWorld Conference、Ruby Prize の 3 イベントが開催される週を「RubyWeek」と位置づけ、「自由さ、たのしさ、コミュニティへの貢献」という価値観を広く発信するキャンペーンとして、多様な関連イベントが実施されました。

オープニング・セレモニーでは、まつもとゆきひろ実行委員会委員長、丸山達也島根県知事、上定昭仁松江市長の挨拶に続き、ご来賓としてお越しいただいた、独立行政法人 情報処理推進機構 デジタル基盤センター 企画部長（兼）イノベーション部長 下出政樹様よりご挨拶を頂戴しました。



今年の基調講演では、初日に Finplus Group CTO and Co-founder の Bernard Banta 氏に「Sanarei: Offline Web Browsing with Ruby」と題しご講演をいただき、2 日目に Ruby 開発者のまつもとゆきひろ委員長が「Ruby コミュニティの 30 年」と題し講演をおこないました。



また、新たに Ruby コミュニティに貢献した方の活動を表彰する Ruby Prize 2025 表彰式が執り行われました。このほか、国内外の Ruby 技術者および企業関係者による講演が行われ、Ruby のさらなる普及・発展に向けて活発な議論が展開されました。

なお、クロージング・セレモニーにおいては、井上浩実行委員会副委員長より、2 日間にわたる議論の総括と来年の RubyWorld Conference 開催に向けた意向を表明し、閉幕いたしました。

●来場者について 2 日間延べ 884 名（11 月 6 日 469 名、11 月 7 日 415 名）

来場実数 534 名（県内 301 名、県外 217 名、海外 16 名）※ 海外・・・国内在住の外国人を含む

- ・IT 企業関係者 248 名（県内 101 名、県外 138 名、海外 9 名）
- ・その他企業関係者 48 名（県内 36 名、県外 12 名）
- ・行政関係者 47 名（県内 40 名、県外 7 名）
- ・研究教育機関関係者 143 名（県内 112 名、県外 30 名、海外 1 名）
- ・一般（所属なし） 27 名（県内 10 名、県外 14 名、海外 3 名）
- ・講演者 21 名（県内 2 名、県外 16 名、海外 3 名）※ Ruby Prize 2025 受賞者、最終ノミネート者含む

●講演者について

- ・国内 18 名（企業関係者 18 名）
- ・海外 3 名（アフリカ 1 名、台湾 2 名／企業関係者 3 名）